

<デイム>の称号を持つ、英国初のファッションデザイナー、ヴィヴィアン・ウエストウッド。
77歳にして生涯現役を誓う、パワフルでエレガントな生き方に称賛の声!!

魅了されて集めまくったヴィヴィアンの服。
それを作った張本人は歳を重ねて
さらにバイタリティ溢れた女性になっていた。
服で学んだ攻めの姿勢はこのまま持ち続けていこう。
再確認できるいい映画。

千秋 (タレント etc)

ヴィヴィアンが体現してきた
人生こそ本物のパンクだ!
我が道を行くことの困難さえ、美しい。

安藤優子 (ニュースキャスター)

社会への反逆精神を美しくエレガントに
ファッションで訴え続けるヴィヴィアン。
彼女そのものがパンクで多くの人に愛されているが
愛された理由はこれを見れば分かる。
パンク=汚い、過激、反社会的と思っている人がいたら
是非この映画をみて欲しい。

土屋アンナ (モデル、歌手、女優)

唯一無二であり続けるブランドの裏側。生き様。
世界が知るトップブランドになっても、
服を作る事に近道はない、
こだわり抜く自信に心底「かっこいい!」と
胸を撃ち抜かれました。

のん (女優・創作あーちすと)

ファッションのダイナミズムを我々に教えてくれた
ヴィヴィアン・ウエストウッド。
服を作ることと着ることの意味を今も問い続ける
その姿勢に背筋の伸びる思いだ。最高!

青野賢一 (ビームス創造研究所クリエイティブディレクター/文筆家)

BBCの生放送で嘲笑と侮辱を浴びながら、
平然としていたヴィヴィアン。
キャメロン首相に抗議するため、
戦車で首相邸に突っ込んで行ったヴィヴィアン。
彼女の反骨魂をそこに見て、胸のすく思い!

大高博幸 (ビューティ エキスパート)

年を重ねてますますエネルギーに
「自分本位」を貫いて行動するヴィヴィアンを、
25歳下の元教え子である夫が支える。
思わず自分の年から25を引いてみる。虚しい皮算用。

中野香織 (服飾史家)

自由で奇抜な発想で
ファッション界を動かし、歴史を作った。
このガッツとパワーがないと!
働く原動力に満ち溢れている一本!

LiLiCo (映画コメンテーター)

WESTWOOD

ロックだとかパンクだとかそんな次元には決してないもの...
ヴィヴィアンウエストウッドという
ひとりの女性の力強く自分を貫く姿を、
愛を込めて撮影した監督の眼差しに深く胸を打たれた。

竹中直人 (俳優・映画監督)

この人の出現は、実はシャネルと同じくらい
重要なものだったことを思い知らされる。
シニカルで恐ろしく知的、たまたなくセクシーな、
"装いのジャンヌ・ダルク"は、
その人生を知るだけで、力をもらえる。凄!!

齋藤 薫 (美容ジャーナリスト/エッセイスト)

夢は見るものではなく叶えるものらしい。
しかしヴィヴィアンは夢を Show してくれる。
無表情の中の豊かな表情に底知れない魅力を感じる。
1人の時間と同じくらい彼の生活が好き!!と
言い切るヴィヴィアンは私の大好き♡

萬田久子 (女優)

こんなに自分に、誰かに、社会に、世界に妥協がなくて
矛盾がなく、素直でまっすぐな人っていない。
ヴィヴィアンは、私にとって永遠の尊敬。

シトウレイ (ストリートスタイルフォトグラファー/ジャーナリスト)

ヴィヴィアン・ウエストウッドはpunkという概念を
ファッションで表現した最初の人であり女であった。
映画はそこから始まる。

北村道子 (スタイリスト)

いつの時代もヴィヴィアンに憧れてる。
学生時代パンクバンドをやった私にとって
特別なデザイナーだった。
そして今も進化し続け様々な顔を持つ彼女に
魅了され続けている。

マドモアゼル・ユリア (DJ、デザイナー)

体制や伝統、環境破壊、、、それらと戦い続けること。
パンク、ファッション、環境保護は全くの同義語。
生涯騎士のように戦い続ける彼女の勇姿は、
現在戦っているすべての人、必見!!!

ヴィヴィアン佐藤 (ドラッグクイーン、アーティスト)

全部見せてくれる!
隠したいはずのことも、堂々と。
自分を手放さない方法ってこれなんだ。
疑い続けて、関わり続ける!

町山広美 (放送作家)

※敬称略/順不同

BOOKS



『VIVIENNE WESTWOOD
ヴィヴィアン・ウエストウッド 自伝』
本体価格 4,000円+税 B5変形/632ページ/上製
ISBN 978-4-907583-82-8 DU BOOKSより刊行



『VOGUE ON
ヴィヴィアン・ウエストウッド』
本体価格 2,400円+税 A5変形/160ページ/上製
ISBN 978-4-88282-948-5 ガイアブックスより刊行